

【米沢市】地方創生関連 交付金一覧

(単位:千円)

R7 新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金) *4事業 (補助率1/2)

	事業の名称	事業概要	計画額
1	米沢市版DMO設立及び推進事業(R4～R8)	①推進体制の整備 ②観光デジタルトランスフォーメーション事業 ③地域商社事業 ④プロモーション ⑤地域の魅力磨き上げ事業(米沢型インバウンド事業、広域観光推進事業、米沢の歴史文化とSDGs事業)	55,800 (27,900)
2	持続可能な繊維関連産業の創出を目指す米沢ファッションベースキャンププロジェクト(R6～R8)	伝統的な繊維関連の洋装企業がデザイン、生産、ブランド力の向上等の面で連携し、独自のトレーサビリティ制度及び新たな現代ファッションの拠点形成を行うことで、サステナブルな次世代繊維産地を目指す。	4,800 (2,400)
3	産学官金連携による米沢イノベーション共創事業 (ソフト事業:R7～R9、ハード事業:R7～R8)	米沢商工会議所が建設する新会館内に、新たな産業振興の拠点として「(仮称)米沢地域産業振興センター」を開設するための整備費を米沢商工会議所に補助し、産学官金連携による地域内外との人材交流、産業人材の育成・定着などの様々な事業を展開することで、本市の産業振興の推進を図る。	87,676 (43,838)
4	設備投資・研究開発支援による米沢ものづくり高付加価値化推進事業 (ソフト事業:R7～R9)	本事業は、ものづくり産業が低迷している状況を打破するために、市内ものづくり関連事業者を対象として、自動化・省人化やデジタル化に対応した生産性向上に寄与する設備投資に加え、山形大学工学部や国の研究機関である産業技術総合研究所との共同研究開発及び技術移転などへの支援を行うものである。 これらの取組を産学官が連携し推進していくことで、本市のものづくり産業の高付加価値化を目指す。	10,800 (5,400)
小計			159,076 (79,538)

R7 新しい地方経済・生活環境創生交付金(デジタル実装型) *4事業 (補助率1/2)

	事業の名称	事業概要	計画額
1	電子入札システム導入事業	本市で執行する建設工事等の入札における入札参加事業者の移動・拘束時間の負担軽減と利便性向上を図るため、従来の入札参加事業者を一堂に会しての紙入札に代えて電子入札システムを導入しようとするもの。なお、物品・役務等については、入札参加事業者が多数に及ぶことや、個人事業主も含まれることから、まずは建設工事等の電子入札を先行し、今後その他の業務についても電子入札を導入することを検討していく。	4,500 (2,250)
2	農用地利用計画(一筆台帳)のデジタル化事業	本市が指定する農用地区域は紙媒体での管理となっており、市民、事業者等からの農用地からの除外要望等に関する問い合わせに、待ち時間が多く発生している。農用地利用計画(一筆台帳)を地番ごとに管理し、土地利用計画図を電子化し、既存の公開型GISでデジタルマップとして公開することで、市民・事業者からの問い合わせ、要望への対応速度を高めサービス向上を図る。	2,574 (1,287)
3	米沢市立病院予約システム導入事業	市立病院の外来診療は、初診患者のうち「かかりつけ医」からの紹介患者が7割を超えている。予約なしの初診患者は、受診待ち時間が3～4時間と患者の負担増となっているほか、かかりつけ医の電話予約でも予約確定までに30分程度の待機時間を要し、かかりつけ医側も予約事務の負担も大きい。本システムを導入することで、予約・受診双方の患者の待ち時間を抑制し、患者・かかりつけ医に負担が少ない質の高い医療サービスを提供する。	3,311 (1,655)
4	積雪深センサー導入事業	適切な除雪作業を行うにあたり積雪状況の把握は重要な工程であり、現在は委託事業者等による目視での測定、確認を実施している。深夜や早朝の見回り負担の軽減、天候の急激な変化に対応するため、「積雪深センサー」と「データ閲覧システム」が一体となった積雪深モニタリングシステムを市内10地点に導入し、積雪状況を24時間リアルタイム可視化し、パソコンやスマートフォンから、いつでも積雪状況が確認できる状態を実現する。	18,414 (9,207)
小計			28,799 (14,399)

R8 地域未来交付金(地域未来推進型) *4事業 (補助率1/2)			
	事業の名称	事業概要	計画額
1	米沢市版DMO設立及び推進事業(R4～R8)	①推進体制の整備 ②観光デジタルトランスフォーメーション事業 ③地域資源の磨き上げ事業(米沢型インバウンド事業、観光拡大支援事業、米沢の歴史文化とSDGs事業) ④プロモーション事業 ⑤地域商社事業	62,602 (31,301)
2	持続可能な繊維関連産業の創出を目指す米沢ファッションベースキャンププロジェクト(R6～R8)	伝統的な繊維関連の洋装企業がデザイン、生産、ブランド力の向上等の面で連携し、独自のトレーサビリティ制度及び新たな現代ファッションの拠点形成を行うことで、サステナブルな次世代繊維産地を目指す。	4,600 (2,300)
3	産学官金連携による米沢イノベーション共創事業(ソフト事業:R7～R9、ハード事業:R7～R8)	米沢商工会議所が建設する新会館内に、新たな産業振興の拠点として「(仮称)米沢地域産業振興センター」を開設するための整備費を米沢商工会議所に補助し、産学官金連携による地域内外との人材交流、産業人材の育成・定着などの様々な事業を展開することで、本市の産業振興の推進を図る。	85,826 (42,913)
4	設備投資・研究開発支援による米沢ものづくり高付加価値化推進事業(ソフト事業:R7～R9)	本事業は、ものづくり産業が低迷している状況を打破するために、市内ものづくり関連事業者を対象として、自動化・省人化やデジタル化に対応した生産性向上に寄与する設備投資に加え、山形大学工学部や国の研究機関である産業技術総合研究所との共同研究開発及び技術移転などへの支援を行うものである。 これらの取組を産学官が連携し推進していくことで、本市のものづくり産業の高付加価値化を目指す。	22,600 (11,300)
小計			175,628 (87,814)
R8 地域未来交付金(デジタル実装型(TYPEA)) *3事業 (補助率1/2)			
	事業の名称	事業概要	計画額
1	デジタル窓口整備事業	窓口体験調査で判明した「平日来庁の負担」や「膨大な書類への手書き」という本市の具体的な課題を解消する。 ・LINEを住民ポータルとした、申請・決済・受取まで完結する「行かない窓口」:24時間どこでも手続き可能に。 ・聞き取り・印字により署名のみで済む「書かない窓口」:署名以外の手書き箇所を印字に。 これらのサービス実装により、「選択肢があるまち」・「住民の時間を奪わない市役所」の実現を図る。	4,840 (2,420)
2	施設貸出と避難所開設へのスマートロック活用事業	時間や場所の制約なく施設予約と鍵の受け渡しが可能となるよう、決済機能を含む施設予約システムとこれと連動するスマートロックの対象範囲を市内全小中学校へ拡大する。 避難所となる全小中学校において、避難者がマスターキー用暗証番号を用いて施設管理者(自治体職員)の到着を待たずに即時解錠・入館できる環境を整備する。これにより、過酷な気象条件下(冬期の豪雪や盆地の猛暑)での屋外待機リスクを解消し、住民自らの手による迅速な安全確保を実現する。	7,644 (3,822)
3	公開型GIS新規レイヤ追加実装事業	一部の各種図面等をデジタル化し公開型GISへ搭載することによりインターネット上で市民や事業者へ公開しているが、需要の高い一部の固定資産・水道・道路関連などの地図情報の公開が行えていない。このため、これらの地図情報を取得するために来庁や電話で問合せをすることが住民等の負担となっている。当該地図情報をGISへ搭載し、いつでも情報が入手できる環境を整え、住民等の来庁などにかかる負担軽減と利便性の向上を目指す。	67,619 (33,809)
小計			80,103 (40,051)